

【平成 25 年度・後期学期・ミクロ経済学 I・課題 5】

☆ 提出締切：平成 26 年 1 月 14 日もしくは 15 日講義開始時

【問 1】次のようにある財への需要と供給が与えられている場合について(A)~(C)に答えなさい。

$$\text{需要: } Q_d = 10 - 0.5P$$

$$\text{供給: } Q_s = -2 + P$$

- (A) この市場の需要および供給直線をグラフに作図し、均衡価格および均衡数量を求めなさい。
- (B) いま、供給線が $Q_s = -5 + P$ にシフトしたとき、新しい均衡価格均衡数量を求めなさい。
- (C) (A)、(B)で求めた 2 つの均衡間で需要の価格弾力性を求めなさい。(A)でもとめた均衡を基準とすること。
- (D) (C)で計算した結果から、需要は弾力的か非弾力的かを判断し、価格の上昇により、企業の総収入(TR)が上昇するかどうか議論しなさい。
- (E) (A), (B)でもとめたそれぞれの市場均衡での、消費者余剰、生産者余剰をそれぞれもとめなさい。
- (F) 仮に、供給関数が (B) のようにシフトする前の市場で、政府が下限価格を $P^{\#}=9$ と規制した場合、
- 1) この市場では、超過需要・超過供給のいずれかが存在するかどうか、改めて市場の状況を図に示しながら説明しなさい。存在するならばその数量を求めなさい。
 - 2) 1) の結果に基づき、規制の下での消費者余剰・生産者余剰を求めなさい。

【問 2】次の場合の図を描きなさい。

- (1) 需要関数が、完全に価格非弾力的で、供給が通常傾きをもつ場合。
- (2) 需要関数が、完全に価格弾力的で、供給が通常傾きをもつ場合。
- (3) 供給関数が、完全に価格非弾力的で、需要が通常傾きをもつ場合。
- (4) 供給関数が、完全に価格弾力的で、需要が通常傾きをもつ場合。

【問 3】次の文章が正しいか誤っているか議論し、誤っている場合には、何故誤っているか説明しなさい。

- (1) ある 1 人の人の無差別曲線は交わることがある。
- (2) 無差別曲線上の異なる 2 点において、その個人の総効用レベルは異なる。
- (3) 無差別曲線が原点に対して凸である場合には、効用は収穫逓増を表している。
- (4) ある無差別曲線よりも、右上の位置にある消費の組み合わせでは、効用は無差別曲線上の点よりも高くなっている。

【問 4】ある消費者が、2000 円の予算でチョコレートとドリンクを購入する場合について答えなさい。ただし、C をチョコレートの消費量、D をドリンクの消費量とする。この消費者の予算線を数式で示しなさい。

$$\text{チョコレートの限界効用: } MU_C = 4D$$

$$\text{ドリンクの限界効用: } MU_D = 4C$$

$$\text{チョコレートの価格: } P_C = 50$$

$$\text{ドリンクの価格: } P_D = 100$$